

## OBD II 型デジタコ「Will-Fleet」、 都築電気との連携で国土交通省の補助対象機器に選定

～対象事業者は機器取得費用の補助金を申請可能、9 月の「国際物流総合展」に展示～

「移動」を支えるテクノロジー企業として物流分野の課題解決に取り組む株式会社 Will Smart（東京都江東区 代表取締役社長：石井康弘、以下 Will Smart）は、物流 DX サービス「Will-Fleet」の OBD II 型デジタルタコグラフ（型式名：OD420JP）が国土交通省の「運行管理の高度化に資する機器」に選定され、「令和 8 年度 運行管理の高度化認定機器一覧」に掲載されたことをお知らせします。本選定は、都築電気株式会社（東京都港区 代表取締役社長：吉田克之、以下 都築電気）が提供する運行管理クラウドサービス「TCloud for SCM」との連携により実現したものです。

これにより、「Will-Fleet」を導入する自動車運送事業者は、所定の要件を満たした上で、機器取得費用について国の補助を申請できます。また「Will-Fleet」のデジタコは、2026 年 9 月に東京ビッグサイトで開催される「第 17 回 国際物流総合展 2026」の都築電気ブースに展示されます。

### OBD II 型デジタコ 「Will-Fleet」

 TCloud for **SCM**



#### ■ 選定の概要

名称（型式）：Will-Fleet デジタル式運行記録計（OD420JP）  
分類（番号）：運行管理の高度化に資する機器（U1007）  
選定機関：国土交通大臣（国土交通省 物流・自動車局）  
通知日：2026 年 7 月 14 日

#### ■ 選定基準への対応

本制度の選定にあたっては、走行データを活用した運行管理・安全運転指導への対応が求められます。「Will-Fleet」の OBD II 型デジタコは、車両の OBD II 端子から走行データを取得し、LTE 通信でクラウドへ転送する通信型のデジタル式運行記録計です（型式認証：TD II -112）。取得したデータを「TCloud for SCM」と連携させることで、日報の自動出力、労務状況の管理、危険運転の検知、連携するドライブレコーダー映像を用いた安

全運転指導などに対応し、選定基準を満たしています。

## ■背景

国土交通省は、運送事業における輸送の安全を確保する観点からデジタル式運行記録計の活用が有用であると、なかでも運行中の運行管理が可能な通信型については、急加減速時等の通知を踏まえた安全管理、ドライブレコーダー等の他機器との連携による安全管理、連続運転時間等の労務管理といった活用を想定しています。一方で、その普及にはコストが課題であるとして、コスト低減に資する対策の必要性を示しています。

「Will-Fleet」の OBD II 型デジタコは、車両の OBD II 端子に差し込むことで設置できるため、導入時の負担を大幅に抑えられます。導入の容易さに加え、今回の補助対象機器としての選定により、事業者がデジタコ導入に踏み出しやすい環境がさらに整います。

出典：国土交通省「令和 7 年度 第 1 回 運行管理高度化ワーキンググループ」資料 4「次世代運行管理システムに係る標準化の方向性について」（2025 年 6 月 27 日）

## ■「第 17 回 国際物流総合展 2026」出展のご案内

「Will-Fleet」のデジタコは、都築電気のブース内に展示されます。会期は 2026 年 9 月 8 日（火）から 11 日（金）まで、会場は東京ビッグサイト、ブースは東 8 ホール E8-F15 です。展示の詳細は[展示会公式サイト](#)をご覧ください。

## ■今後の展開

Will Smart は、都築電気との連携を通じて、補助制度を活用したデジタコ導入を検討する事業者への提案を進めてまいります。あわせて、周辺機器や業務データとの連携範囲を広げ、自動車運送事業者の運行管理の高度化と安全性向上に貢献してまいります。

### （参考）制度の枠組みについて

機器の選定は、国土交通省物流・自動車局が「事故防止対策支援推進事業（運行管理の高度化に資する支援）」として実施するもので、選定要領に適合する機器を「運行管理の高度化に資する機器」として選定し、「[運行管理の高度化認定機器一覧](#)」に掲載します。当該機器を導入する自動車運送事業者への補助金交付は、「令和 8 年度被害者保護増進等事業費補助金（運行管理の高度化に対する支援）」として交付申請を受け付けています。交付申請の受付は 2026 年 7 月 31 日に開始されており、詳細な要件や申請方法は[国土交通省ホームページ](#)でご確認いただけます。

## 株式会社 Will Smart とは

Will Smart は顧客企業との対話を通じて培った経験やノウハウ、最新のソリューションを活用し、モビリティ業界のお客さまとの共創による社会課題の解決に取り組んでいます。

特に、デジタル技術を活用した既存業務の無人化や自動化に強みを持ち、バスターミナルにおけるバスダイヤ統合表示システムの新規開発や EV カーシェアリング・無人レンタカー・ライドシェア等を実現する IoT 車載デバイスの提供、バス共同経営を支えるデータ分析基盤の構築など、幅広い分野での支援実績がございます。

詳しくは Will Smart の Web サイト(<https://willsmart.co.jp/>)をご覧ください。

## 会社概要

会 社 名：株式会社 Will Smart

代 表 者：代表取締役社長 石井康弘

設 立：2012 年 12 月 12 日

上 場：東証グロース（175A）

事業内容：モビリティ業界を中心とした事業課題解決に対して DX 技術を駆使したソリューションの企画・提案、  
ソフトウェアの受託開発と運用支援。

資本金：865 百万円（2026 年 6 月 1 日現在）



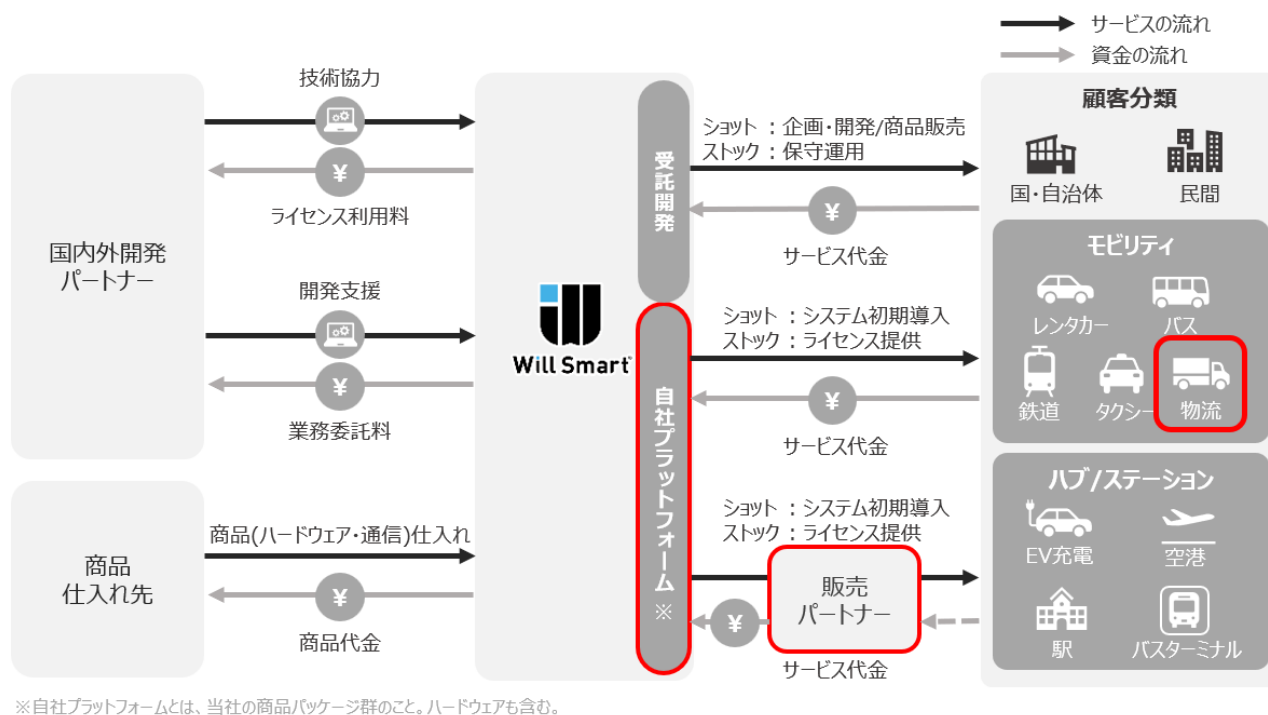
【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 Will Smart 広報担当

TEL:03-3527-2100 MAIL: [pr@willsmart.co.jp](mailto:pr@willsmart.co.jp)

## 【補足説明資料】

### 本取り組みにおけるビジネスモデル上の位置づけ



当社は「中期経営計画 2030 Beyond 100」において、成長ドライバーの一つに「物流 DX」を掲げています。物流 DX における収益は、OBD II 型デジタルタコグラフの販売および初期導入に伴うショット売上と、通信・データ利用に係るストック売上で構成されます。導入台数の積み上げがそのままストック売上の基盤となる構造であり、導入時のハードルを下げることで事業拡大の起点となります。

今回の選定により、「Will-Fleet」のデジタコを導入する自動車運送事業者は、所定の要件を満たしたうえで機器取得費用について国の補助を申請できます。OBD II 端子に差し込むことで設置できるという構造上の導入容易性に加え、初期費用面の負担が軽減されることで、コストを理由にデータ活用に踏み出せていなかった中堅・中小の物流事業者にも導入の選択肢が広がります。当社は中期経営計画において、国の政策的支援を活用して顧客の DX 化を後押しすることを成長の方向性の一つに位置づけており、本選定はその具体化にあたるものです。

また、本選定は都築電気が提供する運行管理クラウドサービス「TCloud for SCM」との連携により実現したものです。当社は中期経営計画において、OBD II 型デジタコの販売パートナーとして都築電気を掲げています。当社が直接アプローチできる範囲を超えて全国の事業者へ商材を届ける体制を構築することは、成長ドライバーの一つである「販売パートナー体制強化」に沿った取り組みであり、直販に依存しない販売体制の整備を進めるものです。

当社は中期経営計画の KPI として、自社プラットフォーム売上比率の引き上げ（2025 年 12 月期 約 30% → 2030 年 12 月期 70%以上）と取引社数の拡大（2025 年 12 月期 約 100 社 → 300 社以上）を掲げています。本取り組みは、自社プラットフォーム商材であるデジタコの導入台数および顧客数の拡大を通じて、これら KPI の達成に寄与するものと考えています。